

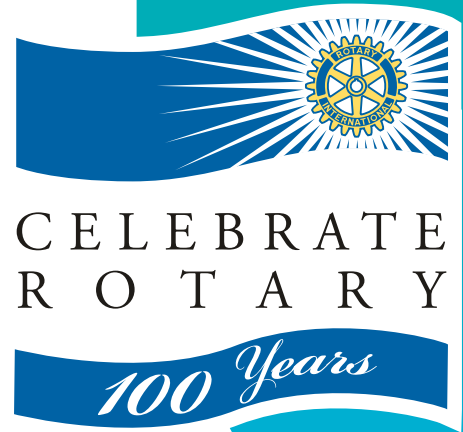
国際ロータリー 第2510地区

2004-2005年度

# ガバナー月信

国際ロータリー第2510地区  
2004-2005年度ガバナー 遠藤 秀雄

〒059-0034 北海道登別市鷺別町2丁目31-1 医療法人社団友愛会 恵愛病院2F  
TEL : (0143)82-2510 FAX : (0143)82-2512  
e-mail : keiai.hp.rc@triton.ocn.ne.jp



DISTRICT 2510 of ROTARY INTERNATIONAL  
2004-2005  
GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ガバナーs LETTER .....	3
1月はロータリー理解推進月間です .....	4
第33回ロータリー・ゾーン研究会 .....	5
親業訓練入門講座への参加のお願い .....	15
地区委員会活動報告	
・地区大会“手作り展示”奮闘記 .....	16
・札幌西RCとフィリピン、マカティウエストRCとの 間で双子クラブ登録の調印式が終了 .....	17
クラブ活動紹介	
・タイの少年の家(ボーイズタウン)人道的援助を終えて .....	17
ハイライトよねやま58 .....	18
ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます 米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます .....	19
こんにちは! 第4グループです .....	20
こんにちは! 第8グループです .....	21
わか街・我がRC 歴史散歩 .....	22
ロータリー100周年記念青少年剣道大会 フィリピン、カワド・カリンガ、プロジェクト事業報告書 .....	23
ロータリー文庫通信	
芦別ロータリークラブからのお知らせ .....	25
掲示板/ガバナー事務所からお願い 8,000万人のアフリカの子どもたちのためにポリオキャンペーンを実施 .....	26
11月会員増減数・出席率報告 .....	27
新入会員のご紹介/訃報 .....	28
1・2月地区カレンダー .....	29

2004-2005 Governor  
**ENDO HIDEO**

Keiai Hospital 2F, Washibetsu-cho, 2-31-1, Noboribetsu, Hokkaido, 059-0034, JAPAN  
(e-mail : keiai.hp.rc@triton.ocn.ne.jp) TEL.81-143-82-2510 FAX.81-143-82-2512

No.7  
2005. 1

第2510地区（北海道南西部）ロータリー財団国際親善奨学金委員会

## 国際親善奨学生募集

ロータリーの国際親善使節として、外国での語学・文化研修や学位取得を目的として留学するための奨学金を提供します

募集期間：2005年2月14日～4月15日（各ロータリークラブへの申請書提出期間）

出発時期：2006年7月～2007年6月

応募資格：（詳細については、申請書に添付されている募集要項、応募のしおりをご覧ください）

ロータリー活動の趣旨に賛同し、日本国籍（特別永住者を含む）を持ち、2006年7月に20歳以上であること  
北海道南西部（ロータリー第2510地区）に本籍か現住所、あるいは勤務先があること

### 【奨学金の種類】

ロータリーの国際親善使節として、外国での語学・文化研修や学位取得を目的として留学するための奨学金を提供します。

- ・3ヵ月文化研修奨学金..... \$ 12,000
- ・6ヵ月文化研修奨学金..... \$ 19,000
- ・1学年度奨学金..... \$ 26,000
- ・マルチイヤー奨学金（2年間）... \$ 26,000

募集人員：各若干名

【詳細については】2005年1月24日～3月31日迄に下記へ募集要項・応募申請書をご請求ください  
問い合わせは、ガバナー事務所へメールにてお願いします E-mail : keiai.hp.rc@triton.ocn.ne.jp

国際ロータリー第2510地区ガバナー事務所

医療法人社団友愛会 恵愛病院内 TEL : (0143) 82-2510  
〒059-0034 登別市鷺別町2丁目31-1  
（送付先の住所、宛名を書き270円切手を貼ったA4判の封筒を同封ください）

## 短期交換プログラム 派遣学生募集

青少年交換プログラムはロータリアンの子女であるなしは問いません  
派遣学生が帰国する飛行機で、当地区派遣の日本人学生と一緒に出発。派遣学生は相手地区にて  
受入学生と一緒に相手地区を訪問するプログラム！

- ・6月末頃に相手地区より約1ヶ月受入、当地区より派遣する学生の家庭にてホームステイ。
- ・受入学生が帰国する飛行機で、当地区派遣の日本人学生と一緒に出発。派遣学生は相手地区にて約1ヶ月間受入学生の家庭にてホームステイするプログラム
- ・各RCさんに送付要項添付させて頂きました。

派遣期間 約4週間（2005年7月末～8月末頃）  
派遣地区 スイス アメリカ  
台湾 カナダ  
応募締切 2005年2月21日（月）  
選考日 2005年2月末予定

【問い合わせ先】 RI 2510地区青少年交換委員会事務局（土田 義也）  
\*TEL : 090-8706-4847  
\*FAX : 011-802-2512  
\*E-mail : ye.cd@khaki.plala.or.jp



# Gガバナー's レターOVERNOR'S LETTER

## 新年の御挨拶

国際ロータリー第2510地区

ガバナー 遠藤 秀雄



明けましておめでとうございます。

昨年は7月からの上半期、公式訪問や地区大会等、あわただしい6ヶ月でしたが、地区会員の皆様には大変お世話になり有難うございました。今年度はロータリー100周年にあたり、後半期には、4月29日～30日国際ロータリー会長主催会議が東京で、6月19日～22日国際大会がシカゴで開催されます。大勢の会員の御参加をお願いします。当地区でも2月23日の記念すべき日に各クラブ或は各グループが例会もしくは集会を持っていただく予定になっています。もし私の希望が叶えられるならば、ご家族や地域の方々にロータリーの日頃の活動の一端を紹介できる場であって欲しいと願っています。そして100周年に1回の機会を有意義に皆でロータリーを祝いたいと思います。

1月はロータリー理解推進月間で、1988年から実施されているロータリーの特別月間の1つであります。クラブ会員には、ロータリーについての知識と理解を深めてもらい、一般の市民には、我々の奉仕活動を理解してもらうためのプログラムを実施、推進することが主旨であります。ロータリアンは誰でも、ロー

タリーは職業を通して親睦と奉仕をする団体であることは知っています。エステスR I会長は職業奉仕が、奉仕活動の基本理念であることを強調しています。ラタクルR I元会長は職業倫理の重要性を説いています。企業の脱税、不正取引や官公庁にまで及ぶ不正経理等、職業意識の変容する今、我々ロータリアンにとって最も大切な課題だと思います。ロータリーには2つの公式標語があることを、すぐに思い出せないことがあります。1つは「超私の奉仕」であり、第2は「最もよく奉仕するもの、最も多く報われる」であります。ロータリー精神を端的に表現した標語であります。その由来や意義については職業奉仕地区カウンセラー石垣博美氏が月信10月号に詳しく解説しておられるので参照願います。

最も気遣いなことは、新入会員の減少と退会者の増加であります。特にロータリーが理解される前に、馴染めず去ってゆく会員が少くないように思います。ロータリーは出会いを大切にする場であり、思いやりを大切にする場ではありますが、同時に新入会員に早くロータリー精神を理解してもらえるプログラムが各クラブで用意されることが必要かと思えます。そして真のロータリアンがどんどん増えてゆくことが、これからの100年ロータリー活動に不可欠だと考えます。

## 1月はロータリー理解推進月間です



### ロータリー理解推進月間に想う

地区研修リーダー

伊藤 長 英 (苫小牧北PDG)

ロータリー100周年を記念して発刊された「奉仕の一世紀」に基づいて振り返ってみよう。1905年シカゴにおいてポール・ハリスを中心に4名で創立されたRCは、親睦とビジネスを推進するという構想から始まった。1906年1月に採択された綱領は、本クラブ会員の事業上の利益の増大 通常社交クラブに付随する親睦およびその他の特に必要と思われる事項の推進の2つだけである。1906年5月にドナルド・カーターが入会し、「利己的な団体は長続きしない。RCとして生き残り繁栄することを期待するなら、公共奉仕を実施しなければならない」といって1907年にシカゴ市の最大の利益を推進し、シカゴ市民としての誇りと忠誠心を市民の間に広めるという第3の綱領を草案した。これがロータリー史における大転換期となった。公衆便所を建て、恵まれない子供たちを助け、貧民街の住民に食べ物の詰まったバスケットを用意して届けるようになった。ロータリーの奉仕活動が世に広く知られると社会に歓迎され、全米各地にそして全世界にも拡大されていった。ロータリーの綱領はその後1910年、1921年、1935年の改定を経て1951年に最後の変更が行われた。ロータリーには「有益な事業の基礎として奉仕の理想を鼓吹し、これを育成する」というただ1つの綱領があると決定され、この崇高な目的を強く前面に打ち出した後、ロータリアンが綱領を成就する4分野が次のように説明された。

第1 奉仕の機会として知り合いを広めること；  
(クラブ奉仕)

- 第2 事業および専門職務の道徳的水準を高めること；あらゆる有用な業務は尊重されるべきであるという認識を深めること；そしてロータリアン各自が、業務を通じて社会に奉仕するために、その業務を品位あらしめること；(職業奉仕)
- 第3 ロータリアンすべてが、その個人生活、事業生活および社会生活に常に奉仕の理想を適用すること；(社会奉仕)
- 第4 奉仕の理想に結ばれた、事業と専門職務に携わる人の世界的親交によって国際間の理解と親善と平和を推進すること；(国際奉仕)

その後1976年にRI理事会は、ロータリーの基本的な面に関する短い定義を作成した。「ロータリーは、人道的奉仕を行い、あらゆる職業において高度の道徳的水準を守ることを奨励し、かつ世界中における親善と平和の確立に寄与することを目指した、事業および専門職務に携わる指導者が世界的に結び合った団体である。」

日本最初のRCは、米山梅吉氏、福島喜三次氏などの協力で1920年10月に創立された東京RCで、1921年4月にRIに認証された。日本のRCは戦争の影響で1940年に国際ロータリーを脱退し、1949年に復帰した。その後目覚ましい発展を遂げたが、1996年をピークに会員が減少しているのは残念である。ロータリアン1人1人が思いやりと助け合いの精神をもって、親睦と奉仕を柱として行動するロータリーを深く理解すると共に今後も発展するように努力したいと思う。

## 第33回ロータリー・ゾーン研究会

11月27日(土)～28日(日)

### 出席された方からのご報告です

2004 - 05年度

第33回ロータリー・ゾーン研究会・付随行事プログラム

11月25日(木)

10:00～18:00 ロータリー財団地域セミナー

11月26日(金)

9:00～17:00 GETS/GETS 配偶者プログラム  
地区研修リーダーセミナー

11:00～15:30 地区会員増強委員長合同セミナー

11:30～13:00 メジャードナー午餐会

14:00～17:00 ガバナー会

14:00～15:30 恒久基金委員会

15:40～16:40 (特活)ロータリー日本財団理事会

16:00～17:00 分科会打ち合わせ会議

18:00～20:30 RI 会長夫妻・R 財団管理委員長夫妻  
歓迎晩餐会

プログラム

第1日 本会議 11月27日(土)

8:20～10:00

招集者挨拶 RI 理事 田中 作次(八 潮)

来賓紹介 RI 理事 南園 義一(防 府)

挨拶 RI 会長 グレン・E・エステス・シニア

挨拶 RI 財団管理委員会委員長

カルロ・ラビッツア

10:20～12:00 第1セッション(各種報告)

・RI 近況報告 田中 作次(八 潮)

・ロータリー財団近況報告及び2006 - 07年度

RI 会長指名委員会報告

玉村 文夫(東 京)

・ポリオ撲滅の現況と募金キャンペーンについて

千 宗室(京 都)

・国際問題研究のためのロータリー・センター報告

国際基督教大学ロータリー平和センター所長

高橋 一生

・国際ロータリーの長期計画について

伊藤 義郎(札 幌)

・ロータリーを祝おう

菅生 浩三(大阪北)

13:00～14:00 第2セッション 特別セッション

「ロータリアンの意識とロータリーの将来の展望」

山口大学 小谷典子教授

14:00～15:40 第3セッション 分科会テーマ説明

1. 新世紀の夢を語る(ロータリー100周年を記念して)

上野 孝(横 浜)

2. 会員増強と退会防止(現状と将来への取り組み)

小沢 一彦(横須賀)

3. 現代社会と職業倫理(社会の変化と職業倫理の在り方)

天野 肇(福 山)

4. 魅力あるクラブ(個性的で、未来を作るクラブ)

黒田 正宏(八戸南)

5. 水と保健・環境(水と感染症、疾病と環境)

宮崎 茂和(福 井)

16:00～17:30 第4セッション 分科会1～5

配偶者プログラム 11月27日(土) 14:30～16:00

第2日 本会議 2004年11月28日(日)

8:30～9:55 第5セッション 各種報告

・シカゴ国際大会推進について

・ロータリー米山記念奨学会報告

・ロータリー・センターについて

・ロータリー家族心づかい奨励グループ報告

・2004年規定審議会報告

10:15～11:30 第6セッション

リポーターによる分科会報告

1. 小船井修一(釧 路) 2. 岩崎 稔(福島東)

3. 片岡 信彦(土浦南) 4. 安部 直樹(佐世保)

5. 安平 和彦(姫 路)

11:30～12:10 第7セッション オープンフォーラム

司会 PDG 筒井 数三(北広島)

12:10～12:40 閉会式





## ロータリー・ゾーン研究会 報告

遠藤 秀雄(登別G)

第33回ロータリー・ゾーン研究会、付随行事が広島リーガロイヤルホテルで4日間行われた。どのようなプログラムで、どんなことが討議されているのかをご理解いただくためにプログラムの概要をお示しした。当地区から参加された方々からは各々の部門の印象記をお願いしたので、私は全体の流れに沿って書いてみたい。

### 11月25日(木) ロータリー財団地域セミナー

R I 会長グレン・エステス氏は、18年間ポリオ・プラスに貢献して来たことに謝意を述べ、それと共に会員増強、特に退会防止の必要性に言及。入会2~3年の会員が財団に寄付しているからだと言われた。また、R財団はロータリアンによって作られたものであり、会員皆のものであると強調された。

財団管理委員長カルロ・ラビッツァ氏は、新しい事業展開として、管理委員を2名増員した。また「管理委員長は必ずしもR I 会長経験者でなくとも管理能力によって決めたら良い。財団の資金は世界の貧しい人達のためのお金であるからだ」と述べられた。4年間で中止していた3Hプログラムが2005年1月から再開される。GSEも隔年ではなく毎年交互に行う。平和奨学生についても学生が2年間も現職を離れることは困難なことで短期間の留学、若しくはセンター講師を短期に地元大学に派遣する事も考えられると意見を述べられた。

### 11月26日(金) ガバナー会

R I 理事挨拶 田中作次氏

カムリーバンク(ポール・ハリスの家)購入、維持計画は中止となった。4月29、30日のR I 会長主催会議には大勢出席して欲しい。6月開催の国際大会(シカゴ)は100周年記念大会であり、日本から8,000人の出席希望をお願いしたい。

エステスR I 会長はポリオ撲滅キャンペーン終結の年度であり、ナイジェリアでのワクチン投与がやっと軌道に乗り、インドでも解決の見通しが立った。

2005年にはポリオの最後のケースとなるであろう。その他の今年度の強調事項にも触れ、シカゴでの再会を楽しみにしていると挨拶された。

### 2003~04年度ガバナー会決算報告

収入合計	46,241,612
支出合計	35,954,580
次期繰越金	10,287,032

### R I 2004年国際大会暫定的決算報告

収入合計	1,500,844,908
支出合計	1,315,375,141
(今後の支出予定額)	41,500,000
予定残高	143,969,767
処分案	
日本財団基金	100,000,000
愛知万博	20,000,000
日本ガバナー会	23,000,000
精算予備費	969,767

### 平和センター支援金地区負担

平和センター設立3年を迎え、これまで関東6地区で人的にも経済的にも支援してきたが、負担が大きすぎる。支援金は会員皆で負担するべきである。会員1人当たり15円くらいの負担が必要になる。

### 台風23号、新潟県中越地震災害義援金報告

合計153,326,259円(D2510 3,438,210円)この分配についても多くの意見が出たが、中越地震災害のインパクトが大きかったこと、台風の被害が広範囲にわたったことから中越地区に約半分、残り半分を人的、物的被害の特に大きかった4地区に送金された。

この後懇談に入り、これまで国内各地区の連絡や協議の場がガバナー会しかなく、本来単年度で構成メンバーの替わるこの会に継続事業が入っているという違和感もあるため、ガバナー会の在り方について話し合う場が必要との意見が多く、改めて会を持つこととなった。

### カムリーバンクに関するR I 会長グレン・エステス氏の見解

最近カムリーバンクと呼ばれているポール・ハリス夫妻の居宅の購入に関心が寄せられている。既にご寄付をされた方々もおられるし、同様の意向のある方々がおられると聞いている。いくつかの理由のために、カムリーバンクの購入は国際ロータリー及びロータリー財団の事業ではなくなったが、ロータリアンが個人的なご助力でロータリーの歴史的な建造物が購入され、歴史が保存され、大切に守られるということには敬意を払い感謝の言葉を申し上げたい。

11月27日(土) 第33回ロータリー・ゾーン研究会  
第1日目日本会議

第1セッション(各種報告)

RI近況報告 田中作次氏

RIは年間に2度、理事会と財務委員会によって更新、検討された5年間の財務予測を作成維持している。RIの目標は、1年間の運営経費に等しい水準で運営準備金を維持することである。理事会では地区大会の会長代理は、従来どおりRIから派遣され、旅費はRIが負担することになった。

ロータリー財団近況報告 玉村文夫氏

ロータリー財団の特徴として、ロータリー財団はロータリーの事業活動 寄付はすべて奉仕活動に利用されている 資金の流れが明確(検証可能)であること。

日本の財団寄付総額は米国について2番目、1人当りは香港、台湾について3番目である。

2006-07年度RI会長指名委員会報告 玉村文夫氏  
ウィリアム・B・ボイド氏 ニュージーランド・パ  
克蘭ガRC会員 1933生

ポリオ撲滅募金キャンペーン 千 宗室氏

日本は2002年から3年間で1,600万ドル(1人150ドル)の誓約を行った。これまで寄付額1人100ドル未満が10地区ある。残り少ない期間であるが150ドル達成に協力して欲しい。当地区は2004年10月末55.54ドル

ロータリーセンター報告 高橋一生氏(ロータリー平和センター所長)

セキュリティコミュニティは30数ヶ国しかない。これを拡大することが目標 100ヶ国以上が動乱の地域である。これをなくすことが21世紀の重大目標。

この2つが教育の重要な柱となっている。3年目に入りカリキュラムが徐々に充実してきた。この3年間に国際基督教大学ロータリー平和センターに7人、9人、7人を受け入れた。これからの課題として、国連大学と7つのロータリー平和センターが連携をする準備を進めている。

国際ロータリーの長期計画について 伊藤義郎氏

ロータリー戦略計画委員会はロータリー全体の在り方(構造)と目標を設定するものである。テーマを7つに絞り、7つのゴールという名称にした。ロータリーの未来像として、

ゴール1:ポリオの撲滅

ゴール2:諸活動・諸事業の商店をはっきりさせる  
-弾力的・創造的な参画の拡大

ゴール3:組織・構造の将来像-発展的・構造的な両面

ゴール4:ロータリーまたはロータリークラブに対する  
リーダーシップの確立

ゴール5:各レベルの教育の将来像

-ロータリーの教育の在り方の見直し

ゴール6:ロータリーの拡大・メンバーシップ会員の  
増強-地域社会への一層の浸透

ゴール7:ロータリーのイメージアップ

-社会評価のアップ

ロータリーの将来戦略として目的、構造、教育が大切な検討項目であった。

ロータリーを祝おう 菅生浩三氏

要旨はロータリー・ジャパン・ウェブをご覧いただきたい。

第2セッション(特別セッション)

ロータリーの意識とロータリーの将来の展望 山口  
大学 小谷典子教授

2002年7月、2710地区会員3,982名全員にアンケート調査、回収率72.4%、調査項目は活動経歴、活動参加実態、意識と評価で、調査結果からロータリアンの暮らし方の特徴 ロータリークラブ組織の現状 ロータリアンの意識と組織評価 ロータリーの魅力と誇りについて分析された。結果を以下のようにまとめられた。

ロータリーへの誇り意識を醸成することがクラブの将来を決定する。

- ・ロータリアンにとってロータリーとは?
- ・多様なロータリアンの存在の確認
- ・ニューカマーのロータリー活動への参加推進
- ・ロータリー世代間の交流の促進
- ・ロータリークラブ活動の魅力の再発見
- ・ロータリアンであることの誇り意識の醸成

第3セッション 分科会テーマの説明

5つの分科会リーダーから趣旨説明が行われた。いずれも各々関連はあり、これからのロータリーにとって重要な問題であったが、私は第4セクション分科会の水と保健・環境に参加した。この問題は国連でも21世紀の大きなテーマとなっている。

モデレーター宮崎茂和氏は「地球上の水のうち海水と氷以外は0.3%で、そのうち2/3は地下水、河川水

は0.1%に過ぎない。人口の無制限の増加は人類の死滅につながる」と警告。

水問題 淡水確保 植樹(砂漠化防止)  
水質汚染  
環境問題 森林伐採 企業の地域汚染  
人口問題

健康(感染症、疾病を含む) WCSの期待 エイズ問題 疾病と感染症 識字率の向上  
パネリスト成川守彦氏は、主にエイズ問題を取り上げ、先進国の中で日本だけがエイズ患者が増えている。その実体の説明から予防教育の重要性を強調。水問題ではアフリカの水使用量が日本の1/6以下で、餓死者より水汚染による死亡者がはるかに多い。アナン国連事務総長の「水なくして、平和はない」を引用された。

パネリスト関場慶博氏は、ガーナでの生活体験から水すなわち命を実感された。手洗い水がないため感染症が多発 マラリアの大流行 飲料水中のヒ素とフッ素の高濃度化 水汲みによる事故死 をあげ、宮古農林高校が海洋深層水で「水のノーベル賞」を受賞したことを紹介された。水と環境保全是人口問題とリンクしていて、識字率が向上すると人口は減少する。識字率を上げるためにロータリアンが出来ること  
ロータリアンが自己認識すること クラブで話し合うこと WCSに参加することを強調された。

11月28日(日)第2日日本会議

第5セクション(各種報告)

シカゴ国際大会について 板橋敏雄氏

クラブで話し合っ、ロータリーの原点を探る旅に出よう。シカゴ100周年記念国際大会の紹介。

ロータリー米山記念奨学会報告 宮崎幸雄氏

基礎調査の結果から、ロータリアンからは国際交流や親善を推進する人材や母国に限らず国際社会で活躍する人材を求める声が多く、留学生からは「日本との懸け橋になる」、「国際社会で活躍する」といった声が多かった。指定校と大学推薦については半数がプラス評価。25%で改善が必要と回答。検討課題としては「地域密着型大学や特徴のある大学を指定校とする」、「地区裁量枠の検討」が挙げられた。寄付金は1997年以降会員数の減少と平行して普通寄付金、特別寄付金ともに減少してきており、奨学金の減額や人数減で対応している。

ロータリー・センターについて 岩井 敏氏

発足当初はマイナスイメージが強く出ていたが、今回の評価は高くなった。日本語が出来る学生が増え、教員間の連携も良くなってきた。関東6地区がホームエリアとなって、人的・経済的に支援しているが、資金面でサポート体制が困難になってきている。



## 第2回 ガバナーエレクト 研修セミナー

塚原 房 樹(札幌東GE)

11月25日の財団セミナー、26日のGETSに続き27・28日のゾーン研究会に出席しました。私はガバナーエレクトとしてGETSのご報告をいたします。GETSのプログラムはアナハイムの国際協議会の事前勉強会と位置づけられています。指導に当たるRI研修リーダーは、川尻、上野、黒田各PGの方々でした。研修セミナーの議事項目は8つのセッションから構成されています。地区ガバナーの役割と責務 効果的なクラブを支援する地区組織 ロータリークラブの活性化を促す会員増強と退会防止 効果的な指導力の開発 ロータリー財団プログラム 財団寄付増進とシェアシステム 国際ロータリーの運営条件 国際協議会の予備知識の8部門でした。また国際協議会でのグループ討論を想定したプログラムとして、16の項目について研修しました。主なものは、「強いクラブを作るには」、「会員増強と発展について」、「毎年すべてのロータリアンが100ドルを」などでした。

以上のプログラムを見てお気づきのよう、やはりRIの重点課題は財団支援と会員増強がメインとなっております。朝9時から夕方5時過ぎまでのハードなスケジュールでした。研修を終えて感じたことは、RIのリーダーシッププランは、RIの目標達成のために実に用意周到に細部にわたり準備されていることでした。そして国際協議会はロータリー哲学を学ぶところではなく、あくまでもロータリーの組織維持と管理運営の方法を徹底研修する場であることを知らされました。また夜は国内34地区のガバナーエレクト夫妻の連帯感を高める目的で懇親会が開催されました。なおガバナーエレクト配偶者プログラムも終日行われました。有意義で効果のあるGETSですが、小春日和の広島で朝から晩まで缶詰の4日間でした。





## 地区研修リーダーセミナー に参加して

地区研修リーダー

伊藤 長 英 (苫小牧北・PDG)

ロータリー・ゾーン研究会の前日、2004年11月26日(金)に地区研修リーダーセミナーが開催された。昨年までは年1回であったがRIの方針で今年から年2回の開催となり、何れもGETS(ガバナー・エレクト研修会)と同日に行われた。第1回目は9月12日(日)で、午前中はガバナー・エレクトと同室で

セッション ; クラブの活性化を促す会員増強と退会防止

セッション ; ロータリー財団プログラム

についての講演を聞き、午後からはGEと別室で

セッション ; 地区研修リーダーの役割と責務

セッション ; 地区研修会の準備と方法

について討議された。

第2回目の今回は、全員集合による開会式の後、直ちにガバナー・エレクトとは別室で、9時より17時15分まで研修が行われた。

セッション ; (討議) 成功する「地区チーム研修セミナー」

セッション ; (講義) 研修の技術とテクニック

(講師はNHK放送研究センター日本語センター長 岩井正氏)

セッション ; (討議) 成功する「地区協議会」の進め方

セッション ; (討議) 成功する「地区指導者育成セミナー」の進め方

セッション ; 評価および協議

セッション は2組に別れ、リーダーは夫々前RI研修リーダーである神崎正陳氏と天野肇氏が務め、討議形式で90分づつ行われた。「地区協議会」の進め方については地区により特徴あるプログラムを組んでいるところがある。「地区指導者育成セミナー」は、未開催の地区が多く次年度に向けて準備段階の地区が多い。手引きによると、開催の日程は地区大会に付随して開催されるべきとなっている。参加者はクラブ会長を務めたロータリアンで、クラブの指導的役割を3年以上務めたことのあるロータリアンとなっている。

セッション の岩井正氏の講義は、「あなたの話は伝

わっていますか?」と題し、言葉のトレーニングを行った。実習課題にも取り組み、ユニークな講義であった。

尚、2004年6月のRI理事会において、地区には直ちに地区研修リーダーを委員長とする研修委員会を任命することが義務付けられた。



## クラブを壊すにや刃物はいらぬ 前年通りやればい

富原 薫 (札幌PG)

広島での、ロータリーゾーン研究会に出席された、国際ロータリー、グレン・E・エステス会長は、アメリカ人として胸中複雑な思いがあったのではなからうか。

11月25日夜、歓迎晩餐会は原田英代歓迎コンサートから始まった。その磨かれた宝石のような音色や重量感、約1時間に及ぶ旋律、会場は堰として声なく琴線に触れて来る音色は全員を魅了する。終わった瞬間会場一杯に感動のどよめき、会は一気に盛り上がった。

26日朝8時30分、点鐘、本会議恒例の一連のセレモニー、エステス会長の挨拶、私たちのクラブで、職業で、地域社会で、そして私たちの世界で、新たに奉仕に献身して「ロータリーを祝おう」としめくくった。

ポール・ハリスら4人の青年たちの立ち上がりから100年後の今日、このような発展を見るとは誰も想像はしなかったろう。これは、生きとせ生きるもの全くの願望の証である。以後、ロータリーとは?と問われたら、躊躇することなく100年の歴史を手短に答えればこと足りる、このことのためにも心から祝いたい。

組織が大きくなればそれに伴って色々な問題変化が増えて来る。人間関係、経済、そして会員の意識の変化など、内部ばかりではない外からの注目、関心も高まって来る。

それを外部から見て、ロータリアンの意識調査を複数の特定クラブを対象に、入、退会の理由、そして今日の心情などアンケート方式で調べた人がいる。山口大学教授、小谷典子さん、その人。それが当日の本会議での主要テーマとして取り上げられた。画期的なこととして注目された。大変参考になる内容であった。中でも、新入会員の中から退会者が増えている、奉仕の理念に基くもの少なく、ステータス意識など自己メリットの計算が先行していること - 考えさせられる。

それでもロータリーに入ったことを誇りに思う点が35%あったこと。 - まだ救われる思い。

続いて午後の分科会“魅力あるクラブ”グループに参加、冒頭1人のパネリストから、「クラブ壊すにや刃物はいらぬ、前年通りやればいい」との発言、さらに氏は所属クラブの棚下しから始めること、「ロータリー見直し委員会」の設置など意欲を語る。パネリストグループは熱弁を、フロアーからは、二、三の質問があったが冷静、佳境に入らないまま分科会は終わった。



「広島ゾーン研究会2004」の意味するもの  
ロータリーの再生と未来

石垣博美(札幌セントラルPG)

### 1. 大いなる感動をよんだ「研究会」

11月26日から3泊4日の小旅行であったが、宮島、江田島と瀬戸内の温暖な地から雪の北国に帰ってくると、ひどく疲れを感じた。今回は<広島>で開催されたこともあり、大変重い、そして忘れがたい思い出になる旅であった。

RI会長のエステスさん、財団委員長のラビツアアさんを迎え歓迎晩餐会から始まる一連のプログラムには、今までにない張りつめた空気が流れているような感じがした。ベートーベンのピアノ曲「テンペスト(あらし)」の演奏で始まった晩餐会は、ひとときわ情趣をそえた。とうのも、解説によれば、あのシェクスピアの晩年の作品といわれる「テンペスト」は、人間の争いを融和に導く<友愛のこころ>、寛容の精神を願う宗教的な祈りを表現した名作という。ベートーベンもこの<友愛のこころ>に感動してピアノの調べにのせたのではないだろうか。ロータリーの希求する平和は、まさにこうした心情に通じるのだと思う。

しかも、この難曲を演奏する若きピアニストは、元財団奨学生原田英代さんだった。今はドイツに在住しているが、来年はバリトンのローマン・トレケル氏と来日し、シューベルトの「冬の旅」全曲の演奏会がある。

### 2. 「広島」は呼びかける

私どもは、会場を埋めたたくさんの先輩、同僚と

ともにこのピアノ演奏に聴き入った。そしてロータリーの100年を語り合った。確かにそれは嵐のような100年だった。私はこの6月、規定審議会でシカゴにいた。一タ、街に出てジョン・ハンコックビルの上階の展望台を訪れ、眼下に広がるミシガン湖の大きさに目を見張り、この30マイル北にポール・ハリスが生まれた町ラシーヌがあるのだなと思いにふけた。が同時に壁一面に広がるシカゴ大火災の展示絵に見入った。その廃墟と化したシカゴの風景は、ふとわたしたちに「グランド・ゼロ」という言葉と風景を思いおこさせた。

晩餐会のわたしたちの語らひは、いつしか広島の60年前の体験生活世界であった。そして、そこから出てくる「再生」へのエネルギーは世界的メッセージだという話に移った。ロータリー100年を祝う場所として広島は最適の街かもしれない。

古代ギリシャの人々はロードス島に理想郷があると信じ、この島にたどり着いたとき「ここがロードスだ。ここで踊れ」と叫んだ。広島の街もまたロータリアンに呼びかけているようだった。「ここが広島だ。ここで踊れ」と。われわれは、ここを出発点として未来にむけて前進したいものである。

### 3. 画期的な「ロータリー精神分析」

今回のゾーン研究会でもう一つの忘れられない楽しさは、日本のロータリー史では始めて社会科学的方法が導入され、田中・南園両理事、川妻実行委員長(広島南)のプログラム企画への関心と努力が実を結んだことである。研究会第1日目の第2特別セッションで、山口大学の小谷典子教授による「ロータリアンの意識とロータリーの将来」と題する基調講演があった。それはわが国における「ロータリー学」の出発といってもよいのではないか。アメリカでは知られるとおり、シカゴ大学の社会学者たちが、いわば「ロータリー現象」の分析を行っている。田中 毅さん(神戸 芦屋)はそれらの研究の紹介につとめておられる。日本では、ロータリーは今まで科学的に社会思想史上のテーマとして取り上げられることはなかった。これからは大いなる未開拓の分野として取り上げられていくのではと、私どもは胸をふくらませる思いだ。

「広島ゾーン研究会」本会議の第4セッションは、この基調講演をもとにして5つの分科会が開催され

た。新世紀の夢 会員増強 職業奉仕 魅力あるクラブづくり 世界の水。これらのトピックをめぐって熱い議論がなされた。詳細は近く配布されるゾーン研究会レポートをご参照いただきたい。

総じて今回の「広島ゾーン研究会」は明るく楽しく、集ったパストガバナーたちを奮起させる会議であった。役員やパネリストの方々の話もよかった。それに、明るい話題もあった。日本やインドでの会員減少のペースが落ちてきたとか、イタリア、ドイツ、ロシアでは逆に増加の傾向にあるという。また、韓国、東南アジアでも増加している。ポリオ・プラスのプロジェクトも撲滅宣言ができる条件が整いつつあるらしい。平和奨学生プロジェクトも着実に進んでいる。私の同期のパストガバナーの地区では、新しいクラブづくりに成功しているとか、明るい話題が多く楽しかった。

ひとえに、いくつかの新機軸が会議を有意義なものとした。それはあたかも広島市の街が、訪れる人に呼びかける「エートス（社会的雰囲気）」だったかもしれない。それがわれわれロータリアンにも「グラウンド・ゼロ」の原点に立ち返り、立ち上がれと呼びかけていたような気がする。前述した小谷教授の人文科学的分析の接近手法を取り入れ、「ロータリー学」への出発を試みたプログラムが光った。この輝きにひかれて、これからは多様な視点からの「ロータリー論」が出てくるのではないだろうか。そうした方向に動いていけば、日本の論壇の一角にロータリー学ともいべき議論が定着するの夢ではない。多様な人文科学的の接近方法がもたらす現実的な効用は今後期待できるのではないか。例えて言えば、前述の5つの分科会で問われている「ロータリーの問題」の解決に少なからず資するのではないかと思う。

#### 4. 「武士道資本主義」を排す

その一つの例として、最後に前述した第3セッションにおける議論の一場面を紹介しよう。

この分科会のテーマは「職業倫理と現代社会」である。パネリストの一人、藤川亨胤（鶴岡）さんは、アナハイムでの経験を背景に、日本文化、＜武士道＞を基調とする企業社会を目指すべきだと説いた。職業倫理という言葉は西洋のキリスト教からきており、その原理もそこに由来する。武士道には

雄・仁・義・礼などの徳目を含む道德体系があり、これは西洋のそれと相通じるものがあり、遜色は全くない。しかも、この日本の道德体系は、日本だけでなく国際的にも理解されている。それが証拠に、アナハイムで話しあったアメリカ人たちは、「ラストサムライ」（アメリカ映画）をひきあいにして、日本社会の「高圧倫理社会」性に感嘆しているのだという。そして、渡辺謙が扮する西郷隆盛が死地に赴くとき、「さらば」とトム・クルーズ扮するアメリカ人お雇い士官に別れる場面はアメリカ人にとっては感動なのであった。日本人のよい死に方を教えているのである。

藤川さんは、大変説得力のある話し方で聴衆は大いに感動し喝采した。国の内外を問わずこのところ企業の不祥事が続いている現状から、まことにタイムリーな発言であった。しかし、日本のアカデミズム、特に文化人類学関連の論壇では、文明論的視点から、武士道を軸とする日本人論は国際的に比較分析する研究が進んでいる。そうした議論の基本的方向は、武士道的要素の本質的側面は見失われ、競争的かつ攻撃的側面がナショナリズム（軍国主義や戦後の一國資本主義）のための手段とされている。

アメリカでは戦争中から「菊と刀」（ルース・ベネディクト）とする日本理解は現在まで続いているとみられる。

日本人の道德体系というのは、結局のところ仏教・儒教・神道などのハイブリットとして形成されてきており、私どもが家庭教育の中で自然に体得するすこぶる健全なる「常識」なのではないか。山口大学の小谷典子教授がはからずも述べておられた「世のため、人のため」という「世間」に迷惑をかけない倫理的正義が成立しているのである。これが日本社会を世界的にもっとも目立つところの「高圧倫理社会」を作り上げているのだ、と私は考えている。

藤川さんには失礼な発言があったらお詫びしたい。私はロータリー議論のなかにこうした議論がもっと出てくることを願っている。

皆さんはどうお思いでしょうか。





## ロータリー財団地区セミナー

地区R財団委員長

遠藤 正之(札幌南PG)

ロータリー財団地区セミナー(Zone 1.2.3.4)は去る11月25日、第33回ロータリーゾーン研究会の前日に約220名の出席者で行われた。

当日はグレンエステスRI会長、TRF管理委員長カルロラピツァ(1999-2000RI会長)寄付増進部長ラリー・ショーヴァー氏が出席され、広島リーガロイヤルホテルで行われました。

当地区からは、遠藤秀雄ガバナー、塚原房樹ガバナーエレクトと、地区財団委員長の私が出席しました。

このセミナーはRRFC(ロータリー財団地区コーディネーター)今回は宮崎茂和D-2650パストガバナーが主催者となり各地のシニヤリーダーに最近の財団の現況とその問題点、改正事項について各関係者から説明をし、財団についての理解を得、合せて財団寄付の重要性、又ロータリー財団のプログラムについての現況説明を地区に戻り各地区の現況にあった計画実行、又会員に対して正しい説明も出来るようにするセミナーでもあります。

今回は最初にRI会長が財団に対しての高い認識を深め、今後のお願いと過去に対する感謝をし、ロータリーの未来を祝うという趣旨の挨拶にはじまり、ラピツァTRF管理委員長が財団プログラムの変更点と財団の現況についての説明がありました。次いで寄付増進部長のラリー・ショーヴァー氏のEvery Rotary Every Yearの説明が通訳を通して平易に説明されました。又午前中最後のプログラムは2002~2003年度の国際親善奨学生の中山智子さん(広島市 甘日市クラブ推薦)が自分の奨学生としてフランス滞在中の生活と帰国してからのロータリーとの関係、又今後のロータリーとのかわりについての感銘深い報告がありました。

午後からは、恒久基金委員会の報告が恒久基金委員長の岡村俊一氏、ロータリー日本財団についての報告が(特活)ロータリー日本財団理事長の岩井 敏氏から、寄付の重要性については宮崎茂和氏よりのレクチャーを受けました。

最後に日本事務局財団室長の片岡暁子さんからロー

タリー財団の改正事項について説明をうけました。

一日目とはいえ非常にタイトなスケジュールでした。

皆様にお伝えしたいこと

1. 04~05の財団寄付の目標は1億ドルですので、Every Rotary Every Yearで
2. ポリオ・プラスが最終年になっているので御協力を
3. 恒久基金の目標に協力を  
05年末 5億ドル  
25年末 10億ドル にしたい  
現在(9月30日)予測額は4億1,720万ドルです
4. ロータリーカードに参加  
オリコカードの使用者が10,000名に達すると、使用額の0.3%がロイヤリティとしてロータリー財団に還元されるのです。  
年会費、入会費は無料です。
5. 2005年4月28日ロータリー100年を記念して80円切手が発行されます。大いに利用して下さい。  
財団委員長はいつもお願いごとばかりで申し訳ありません。



## ロータリー・ゾーン 研究会報告

第2510地区100周年記念

委員長 岩城 秀晴(札幌南PG)

今回の研究会も「ロータリーの100年を祝い新世紀の夢を語ろう」でありました。私は仕事の関係で11月26日(金)の新千歳発伊丹行の最終に乗り新幹線で広島へ行ったので辿り着いたのは夜中であった。これを克服して翌日の第一日本会議に参加しました。私はこの研究会も100年を祝うことがテーマであり、その100年をスタートとした今後のロータリーの夢を語ったのであります。その中で印象に残った事柄を抽出して記録としたいと思います。その一つとして直前RI理事である菅生氏は、ロータリーを祝おうとして、1905年2月に善意の奉仕団体が誕生し、100年も継続したことは歴史的には考えられない出来事であるから、その原因を掘下げてみました。その原因としては

1. サービスの基盤が確立している。
2. 職業活動は、社会のニーズを満たすため集積であり、他人のために盡す、サービスを基本において奉仕する。



- 3、地域社会への活動奉仕が100年に亘った実績がある。
  - 4、親睦が奉仕活動と人間活動をするために大きな原因となった。
  - 5、クラブの奉仕が原点となった。
  - 6、ロータリー財団が、国際奉仕活動のための資金の構築となった。
  - 7、ロータリーの人事、流れ、豊富な人材の発掘となった。この資源が、永久に発展させるものと確信。
- 以上の項目が100年間支えてくれたものであり、これからも21世紀を経過し、更に新しい世紀に継げるものである。

このように菅生氏は述べられておりましたが、別なセッションでは「新世紀の夢を語る」の中に、ロータリーの各委員会は勉強のテーマを考えて行き、その奉仕委員会において内容を研究すべきと考えて行くことが我々ロータリアンの生き方でありロータリーの夢が展開されることではないか、と上野孝氏は熱く論じておられた。私は思うにロータリーを知ることによりその奉仕への理解を得られるものであって、クラブの例会出席に始まり人間関係が生まれてその感動を共有することが出来るものではないかと思えます。100周年の意義の理解を深めることによるロータリー-の理念が各自に理解ができるものと思われます。ただ100年を祝うことのみにとらわれて真実の理解を得られた奉仕活動を望みたいと考えております。どうか各位と共にロータリーを楽しみましょう。



### ロータリー・ゾーン研究会に 参加して

-ロータリーは世間ばなれしているか？

小林 博(札幌北PG)

ロータリーって何ですか？

「ロータリーって何ですか」と聞かれても明快な回答は難しい。ロータリーの綱領そのものがわかりにくいだけでなく、ロータリーで使われる言葉自体も難しくわかりにくい。ロータリーの「綱領」というのも要はロータリーの「目的」といった方がわかりよいのに、徒らにわかりにくい言葉を使っているようだ。

一般市民の目から見るロータリーは「自ら高い塀を作って世の中から見えにくくしている、そして自分たちは偉いと思っている」という外部の指摘も紹介され

た。ロータリーそのものが既に社会から遊離した存在になっているのかも知れない。

四つのテストも簡単に言えば、「真実かどうか」は「嘘をつくな」ということである。「みんなに公平か」ということは「みんなにフェアにやっているか」であり、ともにロータリアンの倫理の問題である。3、4の項目は「好意と友情を深めるか」、「みんなのためになるかどうか」は言葉どおりであるが、礼節とか信義がその前提にあることは言うまでもない。

会員減少はみんなの気になるところである。我が国では1992年から2004年までに会員数はライオンズは25%、ロータリーは20%減少している。減少の傾向は世の中に共通の宿命であって、ここで無理して増員・増強を叫ぶことはむしろ滑稽なことかも知れない。各クラブが自らの身の丈にあった適正なサイズを考え、そのサイズのなかでいかに質を上げていくかを考えていくべきとの意見は印象的であった。

新しいクラブ誕生の紹介もあった。ローターアクトやGSEのOBなどだけで作ったのである。このクラブの年会費は半期3万5千円であるから年に7万円。例会時の食事はパン、チーズ、ワインで500円の実費のみという(但しビジターフィーは2,000円だからチャッカリしている)。

企業のトップではない平社員がロータリアンになることの是非の議論もあったが、エステス現会長の意見で平社員も「ロータリー家族」の一員との理解でロータリアンになっていただいたとのこと。

Iかweか？

「I serve」か「we serve」か、オープンフォーラムで興味ある討論があった。この「Iかweか」は、ロータリーでの議論は絶えないが、本来二者択一すべきことではなく、ともに大切なものであり、欧米ではもはや議論の対象にもなっていないという。

ロータリー標語の1つはシエルドンのHe profits who serves the bestである。だが、冒頭のHeはTheyに変わった。そうすると英語もThey profit who serve the bestで共に三人称単数のsは消えることになる。ところがTheyはおかしいという意見も絶えないようだ。HeがTheyに変わってホツとしたのも束の間である。以前はHeの代わりにOneにしようという意見が優勢であったが、結局このOneに両性を考慮してTheyに置き換わったのであった。

だが、財団トラスティの玉村文夫さん（東京RC）のご意見によれば、英語を母国語とする欧米人も英語を知らないという。Heというのはもともと古典語では男女の両性を含めて使われていたものであるから、最初のHe profits who serves the bestでいいというのである。ロータリーの論議はどうも世間離れしているようだ。

ロータリー財団の改革は進むか？

カルロ・ラビツァ ロータリー財団管理委員会委員長は1999 - 2000年度国際ロータリーの会長ながら改革派の一人として評価が高い。

今回のロータリー・ゾーン研究会の挨拶の中でも大胆な改革の試案を紹介していた。提案の1つは、ロータリー財団委員会委員長の立場の者は毎年変わるべきではないというのである。その理由は毎年顔（社長）の変わるような会社は誰からも信頼されないように、ロータリー財団も管理委員長が毎年変わるようでは世の中から信頼されない。そうすれば外部からの寄附も期待できないというのである。

もう1つの提案は、財団の管理委員長はRI会長経験者が順送りになっている現状についてである。RI会長はこれを楽しみにしているが、これでは名誉職となってしまう、結局事務局が強大になってしまうだけである。だから財団の管理委員長はRI会長経験者でなくともなれるように変えるべきだというのである。

既に財団改革の一旦としてDDF予算の20%以内であれば地区内で自由に使えるとした改革案が実施されている。久し振りラビツァ会長の歯切れのいい改革案の具体化に期待したいものだ。

ある人曰く、「ロータリーを潰そうと思えば簡単である。新しいことをやらずに前年と同じことをやっていけばいいだけだ」と。社会が変わる以上の早いスピードで変革して行かなければ、ロータリーも、ロータリー財団も世間から忘れられていくだけなのかも知れない。



## 会員増強と退会防止の 分科会報告

佐藤 秀雄(千歳PG)

私は、第3セッション分科会の第2会員増強と退会防止に参加したので報告します。第33回ロータリー・ゾーン研究会は原爆の都広島市で11月26日から28日まで、暖かい日差しの中で開催され白熱した論議が戦わされた。（この報告の中には26日に開催された地区会員増強委員長合同セミナーの分も含まれているのでご了承願います。）モジレーターに小沢一彦氏（横須賀RC）が、パネリストに2名がついて会議が開始された。パネリストから世界の会員は減少傾向にある。特に日本、米国、インドの会員減少が激しい。そんな中において世界の会員が1年間に退会する9千人弱の約半数を日本が占めていることを報告された。日本においては1996年をピークに減少傾向にあったが、前年度から下げ止まりの現象が見え始めた。（しかし、北海道はその傾向が未だ見えない、報告者の観察。）しかし、状況は非常に厳しい。以前に菅生直前理事は、会員増強について「任意の団体において会員の増強は死活問題に関する重要な問題であります。日本の会員数は12万人を超えたが、現在10万人台に減ってきていますが、その背景には、ロータリーの価値観、世代意識の希薄化という現象が顕在化した事によるものでしょう。今現実の問題点は、社会で活躍している女性に対する意識改革が大切でありましょう。」とっておられる。又、大阪中央RCの会員が、RIエステス会長エレクトに質問した紹介があった。「アメリカでは女性会員が全体の10%を超えています。日本ではまだ2~2.5%です。会長エレクトの豊富な経験から、女性会員増強の秘訣をお教えいただきたい。」との質問に会長エレクトは「女性会員を増強するには、女性が話をするほかにありません。会員増強には、会員みんなが意欲を持って当たらなければならないでしょう、会員増強には魔法の杖は有りません。」と明快に答えられたとあります。又、論議の中で「かながわ湘南RC」が今年度創立された。会員の構成は学友、GSE、そして青少年交換の人達で総勢23名をもって発足した。平均年齢39歳、年会費は前期3万5千円、後期3万5

千円の計7万円で運営しているとの報告があった。会員から他の多くのクラブは食事をし、その後に例会を開催している事に奇異の念を抱いている。このクラブは、毎回例会を夜の7時とし終了後にフランスパン、チーズ、ワインの食事をとるとのこと。

総論として、エスレスRI会長が言うように会員増強に魔法の杖はない。特段の努力を持って女性会員を入会させ活性化を図ることが大切だ。特に、ときのクラブ会長が、理事・役員を中心にいかに増強に取り組むかにかかっている。会員増強は一会員だけで達成できるものではない。全会員が一丸となってこそ達成されるものであり、その熱意を創るのがクラブ会長の仕

事だ、という内容だった。思うに、如何にしてクラブの活性化に取り組むべきか。クラブが活性化されれば退会防止はついてくる。手続要覧、諸規定などを理解するだけでなくロータリー運動の真髓を理解させ楽しさを知ってもらう事が大切ではないかと思う。クラブ運営には創意工夫が大切である。女性会員を入会させるのは勿論の事、実施しているクラブも既にあるかもしれないが、例えばクラブ会員にひとつのテーマを与え3分間スピーチを全員にしてもらう。それが終われば次に5分間に進む。これはほんの一例だが、クラブが創意工夫を凝らせばいろんな活性化案は出てくるだろう。

## 親業訓練入門講座への参加のお願い

札幌北RC 会長 深浦 信吾  
地区家庭奉仕委員会 委員長 和田 壬三

子どもを育てることができない母親や結婚しない男女の若者の数が近年急増しています。また離婚率の増加も著しいものがあります。我が国は両親を尊敬しない子どもの数がどの国よりも多いことや、我が家が一番幸せという子の数が、どの国よりも圧倒的に少ないという調査結果が、我が国の現状を反映していると思います。

その反映が、100万人以上存在するという引きこもり青年(男女)の数や、児童虐待の著しい増加、不登校児の増加などといった社会現象になっているものと思います。これらのことは、残念ながら、我が国の家庭が円満に機能していない現状を反映していると思わざるを得ません。

このたび札幌北ロータリークラブが主催して、崩壊した家庭関係を回復するにはどうしたらよいかについての講座を下記の要領で3回に亘って開催することになりました。

関心のある方は、是非ご参加いただくようお願い申し上げます。

= 記 =

1. 日 時 平成17年2月1日(火) 8日(火) 15日(火) 午前10時~12時(各2時間)
2. 場 所 北海道クリスチャンセンター(札幌市北区北7西6) 電話 011(736)3388  
地図 必要により“縮尺の切り替え”をお使いください。  
<http://map.yahoo.co.jp/print?mode=1&key=a11cb0d251b690491690362&pass=ed247efd5189337f>
3. 受講料 4,200円(3回分、ただし全会参加しなくても返還しません)
4. 定 員 30名(先着順)
5. 連絡先 札幌北RC(札幌市北区北7条西5ストークマンション札幌906)  
電 話 011(700)4511 F A X 011(700)4512  
和田法律事務所(札幌市中央区北4西6毎日札幌会館)  
電 話 011(281)0909 F A X 011(271)4336
6. 締め切り 平成17年1月20日



## 地区委員会

## 活動報告

### 地区大会“手作り展示”奮闘記



子ども奉仕委員会  
委員 三澤 龍子(札幌清田)



子ども奉仕委員会  
委員 酒井 宏(千歳)

去る9月4日子ども奉仕委員会で、本委員会も地区大会の展示ブースへ出展することが決まった。本委員会は、(1)ロータリアンによる小中学校での授業と、(2)ロータリアンの職場での小中学生の職業体験、この二つの活動の促進を目指している。出展は、本委員会の活動のPRと協力会員の増加を期待してのことである。私達が担当することになった。

ロータリーの財政難を考えれば、手作り以外にはない。会議中に出展資料とレイアウトの素案を作り、米山委員長の賛同も得て、早速準備に取り掛かった。その後、委員長と私達とで2回、打合せ会議を開き、タイトルを「平成の語り部 - ロータリアンの知恵と経験を - 」とした。趣旨、歩み、会員の登録数、授業の実践活動、小中学生の感想文、これからの活動、などを簡潔に表示することとし、アンケートも集めることにした。

大会1週間前に掲示文の原稿を委員長に送ったり、3日前に家族旅行中の伊勢神宮で三澤委員から電話を受けたりと、大会が近づくにつれ不安が増大していった。

大会第1日午後、展示会場に行って、他のブースの立派さに圧倒された。「手作りだから素晴らしいものがあるのよ」と三澤委員に慰められ、意を強くした。委員長も加わり、喧々諤々、議論をしながらの作業となった。

第2日の展示当日、早期から作業を続けた。多くのロータリアンから「お手伝いしますよ」と声を掛けていただき感激した。いよいよ開場となり、三澤委員と期待を込めてロータリアンを待ち受けた。三澤委員の情熱と、気迫がブースに来たすべての人達を魅了したかに思えた。本委員会の石黒直文(札幌西)、近藤浩(札幌幌南)、石田勉(函館)、石黒安雅(滝川)の各委員も駆けつけて、PRに汗を流していただいた。

韓国のロータリアンも「私達も活動の一つとしてやっていますよ」と流暢な日本語で話された。立ち寄った多くのロータリアンは協力的な姿勢で、アンケートに答えたりその場で登録をして下さるなどした。ただ、知らない会員もあり、PR不足を感じた。

本委員会は、近々、協力会員名簿を発行する予定である。その先に、これを如何に有効に活用していただけるか、の問題がある。協力会員ゼロのクラブ解消と共に、有効活用への会員諸兄姉の御協力をお願いする次第である。(酒井記)





札幌西RCとフィリピン、マカティウエストRC  
との間で双子クラブ登録の調印式が終了



世界社会奉仕委員会

委員長 齋藤 修 弥(室 蘭)

去る11月18日2510地区札幌西RCと3830地区マカティウエストRCとの間で双子クラブの登録に合意し、それを記念するフィリピン、ガワド・カリンガ・プロジェクトに関する調印式が盛大に開催されました。

当世界社会奉仕委員会としては本年度最初の事業ですので、札幌西RCにお願いし詳細な報告書と写真の提供をいただきましたので、23ページの2004～2005年度 国際奉仕事業フィリピン、ガワド・カリンガ・プロジェクト事業報告書に掲載させていただきます。

この他にも現在3つの事業が夫々のRCの熱意により進行しております。予算の関係もありますので、他のRCにおかれても出来るだけ早期に当委員会の事業申請書を用いて事業に応募されますようお願いいたします。



## クラブ活動 紹介

タイ・コンケン地区RI3340  
タイの少年の家(ボーイズタウン)  
人道的援助を終えて

千歳セントラルRC 高塚 信 和

04.11.20～26の日程でWCS事業プロジェクト・DMG0451098(2ヶ国以上にあるRCが協力しあうて行う人道的プロジェクト)により、2510地区千歳セントラルRCと2620地区長泉RCの共同作業により受領国タイ・コンケンRCの仲介によって、ボーイズタウンが完成し開所式が行われ、15名の会員(千歳セントラルRC3名、長泉RC12名)が参加し、地区RCとの友好の輪を拓げ国際貢献の援助をなしとげた。



(財)ロータリー米山記念奨学会 2004年12月10日発行

# ハイライトよねやま 58

## 1. 寄付金速報～今年も残り1ヵ月を切りました……

11月までの寄付金は、前年同期と比べ3.7%減、約2千4百万円の減少でした。普通寄付金が2.4%減、特別寄付金が4.3%減です。今年度も5ヵ月を過ぎましたが、このままの寄付状況が続きますと、2005年6月末の寄付金総額15億円達成が危ぶまれます。事務局でも、寄付金減少の原因を分析し、今後の寄付増進のための方策を思案しております。今後の米山奨学事業を縮小させないためにも、ロータリー会員の皆様に当会の事業内容をご理解いただけるよう、広報へのご協力をよろしくお願いいたします。

## 2. ロータリーゾーン研究会に参加して

ロータリーゾーン研究会のプログラムに「ロータリー米山奨学事業」が加えられて、今年で3年目となります。これは、米山奨学事業への認知が十分に高まったこと以上に、ロータリー全体の危機感が叫ばれる中で、日本のロータリーの発展のために、今後いかなる努力が必要かを共に考える時期に来たからだと言えるでしょう。

今回の研究会に参加して、現在、米山奨学事業が直面している問題と課題への取り組みの糸口が見えてきました。米山奨学事業が日本のロータリーの「多地区合同事業」である認識の欠如、奨学金への寄付と事業の維持はロータリー会員の義務と責任であることの理解不足、日本のロータリー独自の事業とする自負と同時に、社会的責任を伴っていることへの自覚を深めること……これらの重大な課題に、われわれは今後取り組んでいかなければなりません。

また、山口大学小谷典子教授の基調講演『ロータリアンの意識調査』での現状分析について、各報告者から入念な準備に基づく報告と問題提起がなされ、分科会・全体討議の議論は一段と盛り上がりました。ロータリー運動の根源への回帰 世代間の溝を埋めるツールとしての“情報”のあり方 会員相互の信頼関係を深める“四つのテスト”の今日的意義 魅力あるリーダーとなるために 変化する時代への積極的取り組みなど、これからの日本のロータリーの方向・目標を見定める示唆に富んだ研究会でした。  
(事務局長・宮崎幸雄)

## 3. ネパールとの交流を米山学友がお手伝いします！



「ロータリーの友」12月号のよねやまだより(P.40 - 41)で紹介した米山学友のラム・チャンドラ・ブサルさん【ネパール/愛媛大学大学院/1999 - 2000年/第2670地区北条RC】から、嬉しい申し出がありました。

ブサルさんは、日本留学中に愛媛県から任命されて日本・ネパール親善大使を5年間務め、ネパール農業担当省の研究職にある現在でも、両国の国際交流推進のために、数々のボランティア活動に積極的に携わっています。

「私も、私の家族も、日本の方々との友情や交流を深めることに関心をもっています。ここ、カトマンズから日本のロータリアンの皆さんのお役に立つことができれば、とても嬉しく思います」とブサルさん。

「ネパールを訪れる方、ネパールに関する情報が必要な方は、どうぞいつでもご連絡ください」とのことです。

Dr. Ram Chandra Bhusal : P.O.Box 10741, Tahachal, Kathmandu, Nepal

E-mail bhusalrc@hotmail.com (メールは英語でお願いいたします)

Tel&Fax 米山奨学会事務局へお問合せください。

## 4. 米山学友から陶芸作品が寄贈されました



和歌山県龍神村を拠点に、新進陶芸家として、また中学・高校の陶芸講師として活躍する張 義明さん【台湾/和歌山大学大学院/1997 - 99年/第2640地区和歌山城南RC】 「ロータリーの友」2004年3月号のよねやまだよりで紹介した彼の奮闘記録を覚えている方も多いでしょう。不慮の事故から立ち直り、懸命に陶芸に打ち込むその姿は、多くの人に感動を与えました。

このたび、その張さんから米山記念奨学会に陶芸のオブジェが寄贈されました。『米山奨学事業への感謝を込めて、奉仕の心を表現したい』と語ったその作品は、一對のオブジェを寄り添うように並べると、不思議な温かみを醸しだします。張さんは、今年、龍神村に念願のアトリエをオープンし、秋には2度目の個展を開きました。



5. 米山奨学会理事中原勇治氏（2500地区）および元常務理事濱野堅照氏逝去

国際ロータリー第2500地区の理事中原勇治氏（留辺蘂RC）が10月14日にご逝去されました。享年81歳でした。中原氏は、1985 - 86年度の同地区パストガバナーで、1999年8月から当会理事となられ、任期は2005年8月までの予定でした。2001年から2003年の2年間は、常務理事としてもお務めいただきました。

また、元常務理事濱野堅照氏（東京江北RC）が11月18日にご逝去されました。享年78歳でした。濱野氏は1987年から4年間当会理事（第2580地区）として、また1991年から2001年8月までの10年間は常務理事としてお務めいただきました。

ここに謹んで哀悼の意を表し、両氏のご冥福をお祈りいたします。

《重要なお知らせ》

ロータリー米山記念奨学会への特別寄付金に対しては、税法上の優遇措置（寄付金控除）が受けられます。1年間（1月～12月）に1万円以上の特別寄付をされた方には、来年1月末までに申告用領収書をクラブにお送りいたします。来年の確定申告は、12月30日（木）までに入金されたご寄付が対象となります。

《年末年始の休業について》

米山奨学会事務局は、年末年始は12月28日（火）～1月5日（水）の間休業となります。1月6日（木）より通常業務となりますので、よろしくお祈りいたします。

今年も1年間、ありがとうございました。

ロータリー米山記念奨学会ホームページでは「ハイライトよねやま」として最新ニュースをお伝えしています。月信等にご活用ください。ガバナー・理事・米山奨学委員長その他希望者にはe-mail等で配信しています。  
http://www.rotary-yoneyama.or.jp/

(財)ロータリー米山記念奨学会編集担当：峯・野津・大庭  
〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-3 abc 会館ビル8階  
Tel : 03-3434-8681 Fax : 03-3578-8281  
E-mail : highlight@rotary-yoneyama.or.jp  
URL : http://www.rotary-yoneyama.or.jp/

ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

深川RC 大西 道祥 会員 11月12日  
苫小牧北RC 山本 秀子 会員 11月30日

ポール・ハリス・フェロー

函館北RC 柴崎 晃 会員 10月22日

ベネファクター

札幌北RC 高橋 麗秋 会員 11月29日

米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます

米山功労者

深川RC 大西 道祥 会員 11月10日 ( 6 )  
深川RC 渋谷 賢治 会員 11月10日  
砂川RC 杉本 勉 会員 11月12日  
砂川RC 内野 司 会員 11月12日  
砂川RC 吉野 繁夫 会員 11月12日 ( 4 )  
札幌手稲RC 針谷 龍宜 会員 11月2日 ( 8 )  
札幌東RC 坂東 宗一 会員 11月19日 ( 8 )  
札幌幌南RC 遠藤 正之 会員 11月16日 ( 4 )  
札幌幌南RC 北山 誠 会員 11月16日  
恵庭RC 村上 利雄 会員 11月19日  
恵庭RC 新川 進 会員 11月19日  
恵庭RC 鈴木伊佐男 会員 11月19日  
室蘭東RC 天谷 富雄 会員 11月12日

室蘭東RC 芝垣 美男 会員 11月12日 ( 2 )  
室蘭東RC 鈴木 久雄 会員 11月12日 ( 5 )  
室蘭東RC 矢萩富士雄 会員 11月12日  
函館RC 黒崎 敏雄 会員 11月16日  
函館五稜郭RC 中村 喜憲 会員 11月19日  
函館五稜郭RC 鈴木 良二 会員 11月19日  
函館北RC 小笠原 孝 会員 11月24日 ( 8 )

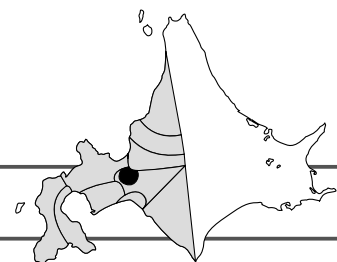
米山功労クラブ

室蘭東RC 11月12日  
函館北RC 11月24日

米山功労法人

医療法人社団熊谷医院 (室蘭北RC) 11月16日

# こんにちは！ 第4グループです



第4グループ ガバナー補佐 小山 秀昭  
(札幌手稲)

第4グループには8つのクラブがあります。

札幌、札幌あけぼの、札幌はまなす、札幌北、札幌モーニング、札幌西、札幌西北、札幌手稲のクラブで構成されております。

各クラブの特長と活動をお知らせいたします。

## 札幌クラブ

創立71年目を迎える道内で最も歴史的な当クラブは会員数も最大で豊富な人材を有する。今年度も会員増強の目標数にほぼ達しており、「職業奉仕委員会」が30年間続いている「若い人と語ろう会」や「資料委員会」の設置などユニークな活動をしております。

## 札幌あけぼのクラブ

札幌手稲クラブをスポンサークラブとして創立して14年を迎える当クラブは少人数ながら青少年に関する活動を地域と共に行っています。

## 札幌はまなすクラブ

札幌北クラブをスポンサーとして設立された当クラブは13年目を迎え、4名の女性会員を含め「アットホーム」的な和やかなクラブ運営を進め、会員全員が社会福祉協議会の「ボランティア証」を所持するなど地域の社会活動に積極的に参画しています。

## 札幌北クラブ

次年度35周年を迎える当クラブは深浦信吾会長のもと「和をもって貴しとす・力ある楽しいクラブで超我の奉仕を！」をモットーにクラブの改革を進めております。

## 札幌モーニングクラブ

札幌市内唯一朝の例会を行っている創立16年目の当クラブの平均年齢は57.5歳と若く、「カミネッコン」による「植樹」や「同好会活動」など互いに知恵を出し合い明るく楽しいクラブ運営を行っています。

## 札幌西クラブ

1960年創立の伝統ある当クラブは70名の会員を有し、例会のロータリーソングの故事来歴の説明やバースディソングの女性会員による独唱など、例会は厳粛な雰囲気と風格を感じます。

## 札幌西北クラブ

インターアクトクラブを有する当クラブは札幌手稲・札幌あけぼのクラブとの共同事業である、「西区・手稲区中学校スポーツ大会」など青少年活動をはじめ、地元の「三角山」山頂に設置した東屋の清掃や登山者名簿を備えるなど地域活動を行っております。

## 札幌手稲クラブ

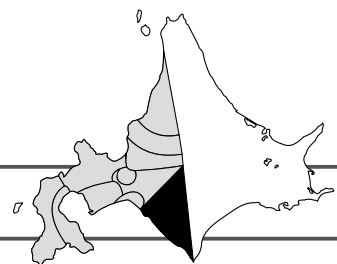
創立35周年を迎える当クラブは創立以来ほぼ毎年続けている「交換留学生」や十数年来続けていて毎月支給される「高校生奨学金制度」、そして札幌西北・札幌あけぼのクラブとの共同事業「西区・手稲区中学校スポーツ大会」など青少年に関する活動を行っています。特に本年23回目を迎え、5種目・参加選手1,600名を超える「西区・手稲区中学校スポーツ大会」は毎回行政とともに、地域から大きく期待される事業に成長いたしました。





# こんにちは！

## 第8グループです



第8グループ ガバナー補佐 蘇田又栄  
(浦河)

第8グループはえりも岬を突端に雄大な太平洋の潮騒と、自然豊かな日高山脈に囲まれ北海道でも降雪量が少なく温暖なところです。

この気候条件を生かし明治の頃より馬産が盛んで、現在ではサラブレッド生産日本一、国内の約80%占め幾多の名馬を産出し、全国にその名を轟かせております。

このような産業構造から各クラブには多くの競走馬関連の会員が所属し、他クラブにない会員構成となっております。

我がグループには、静内・三石・浦河・様似・えりもの5クラブがあり、それぞれ特異な奉仕活動を展開しておりますので、紹介します。

静内RCは昭和46年創立。グループの会員数を誇り、桜の町にふさわしく桜舞サッカーフェスティバルを毎年開催し青少年育成に取り組んでおります。また本年8月には100周年を記念し「交通安全塔」の設置をし多くの町民に喜ばれております。



三石RCは昭和45年創立。49年から町立図書館に「ロータリー文庫」を開設、昨年迄26回145万円の寄付を続け、本年は100周年を記念増額寄付を予定、長年の地道な活動に高い評価を受けております。

また、当クラブは家族との絆を大切にし、家族同伴のパークゴルフ・新年会を開催、親睦を図っております。

浦河RCは昭和36年創立。平成13年に40周年を終え意気軒昂、今後の活動に期待されます。昭和50年代より南米・パラグアイの「浦河文庫」に町民とともに図書寄贈を続け、台湾・中歴RCとの交流とともに国際奉仕にも取り組んでおります。

また、昨年社会奉仕活動の一環として、町内外の障害者の乗馬療養を取入れ広く活動しているボランティ

ア団体「クローバ」に乗馬用馬匹一頭を寄贈、この業績にはガバナー表彰を受けております。

様似RCは昭和43年創立。高山植物・カンラン岩で世界的に有名なアポイ山麓周辺への植樹、老人施設への慰問と地域に密着した活動を長年にわたり続け喜ばれております。

また、韓国・馬山RCとの家族ぐるみの国際交流にも取り組んでおります。

えりもRCは昭和47年創立。地域密着型の活動に徹し、小学生からお年寄り迄多くの町民とともに町内の街路・公園等の清掃を年2回実施、今では町民総ぐるみの恒例行事となっております。

また、地域の模範となる勤労青少年の表彰・新入児童への「交通安全ランドセルカバー」の寄贈・町内各企業へ給料袋の配布と幅広い活動をしております。

本年はロータリー創立100周年の節目の年、心新たにロータリー第二世紀へ向け前進しようではありませんか。



100周年にちなんだ地域・クラブ紹介

# わが街・我がRC

# 歴史散歩

～地域と共に歩んで～



フォーラムの風景

## 札幌南ロータリークラブ



参加者の様子



ボウリング大会(1)



ボウリング大会(2)

我がクラブは札幌市内豊平地区を中心に1964年から活動していますが、親クラブは札幌東クラブです。その後恵庭クラブ・札幌真駒内クラブ・北広島クラブ・札幌清田クラブ・札幌大通公園クラブ等枝葉を張っていておりますが、国際ロータリー100周年と同時に我がクラブも創立40周年の節目を迎え、二重の記念すべき年度を迎えています。

記念事業と致しまして、関正明実行委員長のもと40周年記念ゴルフ大会、記念囲碁大会を実施。11月27日には記念事業として、札幌コンベンションセンターで「児童養護施設の子どもの現状認識と将来支援について」と題し、札幌市内5施設の代表と北星学園大学林浩康助教授のコーディネートで記念フォーラムを開催しました。当クラブ会員以外にも地区委員や他クラブの皆様にも参加を大勢いただきました。この場をお借りして御礼申し上げます。施設側からもこのようなフォーラムで一般公開の中で開催したのは初めてのことだそうです。終了後参加された方々から、子ども虐待の実態や施設の子どもの現状が日々どんな気持ちで生活しているか、初めて知った旨の感想が寄せられました。昨年はタイ国より地区主催でタイの子どもの虐待実態・人身売買のフォーラムを現地国会議員のパヴェナさんが来札されて講演をされましたが、奉仕団体である当クラブとして現状に光をあて問題提起できたことに、新たな責任を感じています。今後当クラブだけではなく、できましたら2510地区でも取り上げられることを切に希望するものです。

2005年1月22日に40周年記念式典・祝賀会を開催します。その後第4・5グループ合同の国際ロータリー100周年記念事業にも参加します。現在会員数72名にて、毎週金曜日、ルネッサンスサッポロホテルにて例会を行っております。是非お立ち寄り下さい。

札幌南RACも創立30周年を迎え、記念事業として去る12月4日には南区藻岩の知的障害者施設「この実寮」の入所者を招待し、チャリティボウリング大会を実施。4月には記念式典を計画しています。RAC会員には財団学友・来年留学を予定しております財団奨学生と、ロータリーに関わりを持ちながら活動しております。

## 第一グループ ロータリー100周年記念青少年剣道大会

新世代委員会

委員長 吉田清治(留萌)

ロータリー100周年記念を迎え青少年剣道大会を開催し、大会委員長にガバナー補佐山本三次郎、実行委員長に留萌RC会長清水陸、留萌RC新世代委員会が運営企画し、11月14日(日)午前9時より留萌中学校体育館で留萌、羽幌、小平、深川、妹背牛、の5クラブの協力で、それぞれのマチから120名の小中学生が日頃の練習成果をおおいに発揮し、7部門に分かれてトーナメント戦で順位を戦い大人顔負けの迫力で面や小手など、果敢に打ち込んでいた。午後1時半から行われた表彰式では、羽幌RC松橋守会長が各部門の優勝から3位までの子供達に表彰状とトロフィーを手渡し健闘をたたえ、又参加賞として全員にディズニーキャラクターひざ掛けをプレゼントし、2005年に100周年を迎えるにあたり青少年剣道大会を通じて地域にロータリー活動の認知度をたかめ、盛会で終了した。



## 2004～2005年度 国際奉仕事業 フィリピン、ガワド・カリंगा・プロジェクト 事業報告書

札幌西RC 石丸修太郎

プロジェクトの趣旨：

2005年2月23日はロータリークラブ誕生100周年の記念日であり、この100周年を祝おうというのが、本年度の国際ロータリーの標語となっています。国際ロータリーが企画した100周年の記念事業の一つに、国際双子クラブの登録という活動があり、当クラブとしては、1982年に姉妹協定に調印している、3830地区のマカティウエストRCとこの双子クラブの登録に合意しました。

ただし、この登録の要件として、合同事業の遂行がありますが、マカティウエストRCとの検討の結果、現在フィリピン全土で活躍しているNGOガワドカリंगाの事業への支援を行うことで合意しました。

今回、合意したのは、ガワドカリंगाが現在取り組んでいるいろいろな事業の中で、マカティ市における貧民層への住宅供給事業であります。これは単に住宅を建設するだけではなく、建設を通じて住民の社会的経済能力の向上を同時に図るものです。

プロジェクトの内容：

現在、マカティ市で進行しているプロジェクト名は「マニラの宝石」と呼ばれる地区で、総体で316戸の住宅の建設が計画されていますが、そのうち163戸はすでに着工もしくは完成しています。残りの153戸について現在、民間の寄付および援助を募っている状況です。

現在進行しているこの地域の再開発は、5つの区画に分割されており、マカティウエストRCは、その中の1区画(エメラルド地区)総住宅建設予定戸数70戸のうち、現在のところ16戸の住宅建設を申し出ています。現在までに70戸のうち33戸について既に他のスポンサーが出ており、マカティウエストRCの16戸を含めると49戸となり全体の70%が2005年夏までに完成する予定です。

この地区での一戸の住宅は、平均で約10㎡の土地に2階もしくは3階建てで、平均して一戸あたりの建築



資材の費用は15～16万円となっています。

このためマカティウエストRCが申し出ている16戸の住宅建設に必要な資金は、約250万円強が見込まれていますが、現在までにマカティウエストRCが約60万円の資金を集めています。また、対象となる住民（受益者）の選定作業もマカティウエストRCが中心となってこれから行なわれるとのことですが、このプロジェクトでは、選ばれた住民が自らの手でスポンサーとなった者の指導のもと住宅を建設するため、社会交流も行われ、住民の今後の社会活動の大きな支援の一環として考えられています。

このため、当クラブとしても住民との交流事業も将来における可能性として位置づけております。

合同事業に対する札幌西RCの関与：

当クラブとしては、今回の双子クラブとしての合同事業という性格を鑑みると、原則として、費用の半分を負担すべきであると考えられます。しかしながらクラブの会員の数などを考慮して、札幌西RCの負担を40%として、マカティウエストRCの負担は60%として今回の合同事業を提案しました。

この40%の負担額は、約100万円であり、このうち、2510地区にWCSとして申請させていただきましたところ40万円を本事業に対して配分を受け、札幌西RCとして負担すべき資金60万円については、繰越金からの40万円と、有志による拠出金として20万円としました。

2004年11月18日にマカティウエストRCの35周年記念パーティーが開催されましたが、その当日、建設現場のコミュニティーホールにおいて、当クラブからの会長幹事を含め有志6名が参加して、この合同プロジェクトの調印式を行いました。

また、帰国後時期的に為替相場の変動が見込まれたため、マカティウエストに対する送金は12月2日に行いました。

事業の検証について：

マカティウエストRCとこれまでの討議の内容から、16戸の完成時には、その地区に「マカティウエストRC&札幌西RC 合同プロジェクト」のサインが掲示される予定です。

実際のプロジェクトの管理はマカティウエストRCに委託しなければなりませんが、合同事業という性格上、その報告は適宜受領できる予定です。個々の住宅建設に掛かる期間は3ヶ月から5ヶ月と見込まれるため、2005年6月までの完了は問題ないと見込まれます。

以下、当日の調印式等の写真です。



調印式の様子 左から、ガワドカリンガのこの地区の責任者セルテッサ氏、RCマカティウエスト会長オカンボ氏、RC札幌西会長矢橋温朗、幹事石丸修太郎、現場責任者ロドリゴ氏



記念プレートの除幕式の様子



夜の記念パーティーで、RC札幌西国際奉仕委員長佐藤哲哉と会長矢橋温朗



ロータリー  
文庫通信  
(207号)

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-3 abc会館7F  
TEL(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506 http://www.rotary-bunko.gr.jp  
開館 = 午前10時 ~ 午後5時 休館 = 土・日・祝祭日

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万9千余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

ロータリー情報の資料として

「再・ロータリー随想」 菅生浩三（直前R I理事）  
2004 246p

[申込先：出版文化社 TEL(03)5821-5300]

「心に残るロータリアンの言葉」 中井義尚  
岸和田東RC 2004 70p

[申込先：岸和田東RC FAX(0724)23-2530]

「遥かなる道 ロータリーを共に」 吳 在璦（元R I理事）  
2004 3p (D.2520 ガバナー月信)

[申込先：ロータリー文庫(コピー)]

「R I現況報告」 上野 孝 2004 5p

(D.2830 地区大会)[申込先：ロータリー文庫(コピー)]

「ロータリーの魅力と楽しさ ロータリーの未来を語ろう」  
本山新三 他 2004 18p

(D.2680 地区大会ロータリー・トーク)

[申込先：ロータリー文庫(コピー)]

「職業奉仕セミナー『その基本原理について』」

深川純一 2004 11p (D.2780 ガバナー月信)

[申込先：ロータリー文庫(コピー)]

「純ちゃんのコーナー(ロータリー3分間情報)Part 1」

深川 純一 伊丹RC 2004 32p

[申込先：伊丹RC FAX(0727)75-1223]

「社会奉仕セミナー『21世紀の社会奉仕活動』」

田中 毅 (D.2780 ガバナー月信) 2004 8p

[申込先：ロータリー文庫(コピー)]

「職業倫理のつれづれ - 職業奉仕かわら版 - 」

D.2650 2003 8p

[申込先：ロータリー文庫(コピー)]

「目に関することわざ」ロータリー情報」

宇部西RC 2004 35p [申込先：ロータリー文庫]

芦別ロータリークラブからの

お知らせ

会長 坪坂周二会員が一身上の都合により退会致し、  
後任会長に土山久男会員が就任致しました。

プロフィール



会長 土山 久男

生年月日  
1939年2月14日生(65歳)

職業分類  
土山歯科医院 院長

ロータリー歴

1979年8月17日入会  
1981~1982年 親睦活動委員長  
1982~1983年 クラブ会報委員長  
1985~1986年 幹事  
1986~1987年 理事・プログラム委員長  
1987~1988年 理事  
1988~1989年 雑誌委員長  
1990~1991年 理事・国際奉仕委員長  
1991~1992年 理事・青少年委員長  
1992~1993年 理事・職業奉仕委員長  
1993~1994年 会長エレクト・理事  
1994~1995年 会長  
1995~1996年 ロータリー情報委員長  
1997~1998年 ロータリー財団委員長  
1999~2000年 監査  
2000~2001年 会員増強委員長  
2003~2004年 第2グループ ガバナー補佐  
2004年12月1日 会長就任

## 掲 示 板

### 例会の変更について

白老 R C

1月4日(火) 休会\*

1月11日(火) 夜間移動例会 新年家族例会 18:00~  
於: しらおい創造空間 蔵(白老町本町)

室蘭東 R C

1月5日(水) 夜間例会 新年会  
18:30~ 於: 蓬峯殿

岩見沢 R C

1月7日(金)例会 11日(火)「両クラブ合同新年交歓会」  
18:00~ 於: 平安閣 会費5,000円

\* 12月28日(火)~平成17年1月6日(木)まで年末年始  
の為事務所を休業致します。御用の方は会長・幹事  
までお願い致します。

苫小牧 R C

1月7日(金) 休会\*

1月14日(金) 夜間例会 「新年家族会」 18:00~  
於: グランドホテルニュー王子 芙蓉の間

江別西 R C

1月11日(火) 夜間例会 18:00~ 於: 遠州寿し

砂川 R C

1月12日(水)夜間例会 13日(木)砂川ロータリークラブ  
創立35周年記念祝賀パーティー

江別 R C

1月13日(木) 12:30~ 於: 勤労者研修センター

えりも R C

1月13日(木) 夜間例会 100周年記念例会  
18:00~ 於: いさみ寿し

苫小牧東 R C

1月13日(木) 夜間例会 ~新年会~  
18:00~ 於: グランドホテルニュー王子

注) \* 定款第5条第1節に基づく休会

### 重要

平成17年1月31日は半期報告(下期)の期限です。  
期日厳守にて書類作成・送付及びご送金をお願いいた  
します。

平成17年1月1日の会員数が基礎になります。毎回、  
人数や送金額の間違いが発生しておりますので、よくご  
確認の上ご報告願います。

【提出書類】 R Iへ: 半期報告書、会員リスト、  
国際ロータリー取扱分送金明細書  
地区へ: 地区資金送金明細書

## 8,000万人のアフリカの子どもたちのためにポリオキャンペーンを実施

11月下旬、アフリカ中部・西部の23か国で、8,000万人の子どもたちを対象に全国予防接種日が開催されました。特にアフリカ最大の人口を抱えるナイジェリアでは、4,000万人を対象としてワクチン投与が実施され、伝統・宗教から派生したボイコットを克服して、再び2005年末までにポリオを撲滅するという軌道に戻りました。キャンペーンには、第9110地区(ナイジェリア)から1,000人以上、さらにヨーロッパ、北米からも100人以上と、これまでにない人数のロータリアンが参加しました。

このキャンペーンに際し、世界保健機関(WHO)のデイビッド・ハイマン感染症部門長も、ポリオ撲滅に対するR Iのリーダーシップを称賛。資金、資材、そして人員を兼ね備えたロータリーの重要性は世界的に高まっています。

## ガバナー事務所からのお願い

クラブの出席報告は、毎月の最終例会から15日以内にお願ひ致します。(FAXもしくはE-mail)

変更等のご報告について

新会員、退会者、会員資格変更、クラブ事務所、例会場、例会日、時間の変更、会長、幹事等の移動の場合、所定の手続きによりご報告下さい。

新しく会員が入会された時は写真を同封の上、氏名、入会日をお知らせ下さい。また会員にご不幸があった場合には、氏名、年齢、ロータリー歴、写真を同封の上、至急ご報告願います。

クラブの移動例会等は地区内他クラブに周知して頂くため、変更日の50日前までにご連絡下さい。

各月ごとのクラブ会報を当該月の最終例会終了後、まとめて毎月ご送付下さい。

ガバナー月信へ原稿をお寄せ下さい。特にクラブの活動、トピックス、地域内の話題等、400字前後に写真1~2枚をご同封願えればと考えています。原稿締切り日は毎月10日を予定しています。

## 11月会員増減数・出席率報告

グループ	クラブ名	例 会 数	会 員 数				出席率	
			04.7.1	04.11.30	増減	内女性		
1	深 川	4	40	41	1	1	90.20	
	羽 幌	4	47	47	0	1	68.80	
	妹 背 牛	3	10	10	0	0	80.00	
	小 平	4	14	14	0	0	71.42	
	留 萌	3	59	59	0	0	87.77	
	小 計		170	171	1	2	79.64	
2	赤 平	4	34	33	-1	2	88.23	
	芦 別	4	54	53	-1	0	86.93	
	砂 川	3	54	54	0	0	95.15	
	滝 川	4	109	111	2	2	74.75	
	小 計		251	251	0	4	86.27	
3	美 唄	3	42	41	-1	0	89.18	
	江 別	4	43	42	-1	1	91.87	
	江 別 西	4	37	36	-1	3	90.27	
	岩 見 沢	4	94	96	2	0	86.94	
	岩 見 沢 東	4	37	39	2	3	75.70	
	栗 沢	3	26	26	0	1	93.59	
	栗 山	4	29	30	1	2	94.58	
	当 別	4	38	39	1	1	85.26	
		小 計		346	349	3	11	88.42
		札 幌	3	123	129	6	0	98.21
4	札幌あけぼの	4	16	17	1	1	100.00	
	札幌はなます	4	24	24	0	4	72.83	
	札 幌 北	4	49	49	0	5	95.74	
	札幌モーニング	3	54	58	4	0	67.47	
	札 幌 西	4	69	73	4	3	92.25	
	札 幌 西 北	4	48	50	2	2	89.92	
	札 幌 手 稲	4	39	42	3	1	100.00	
		小 計		422	442	20	16	89.55
5	札 幌 東	3	125	128	3	0	98.89	
	札 幌 清 田	4	26	27	1	5	100.00	
	札 幌 幌 南	4	69	72	3	0	99.63	
	札幌真駒内	3	44	47	3	3	91.47	
	札 幌 南	4	91	94	3	0	94.91	
	札幌大通公園	4	19	19	0	4	80.25	
	札幌セントラル	4	19	20	1	8	88.00	
	新 札 幌	3	36	35	-1	1	95.44	
		小 計		429	442	13	21	93.57
6	岩 内	4	33	33	0	0	77.78	
	倶 知 安	3	54	54	0	3	70.00	
	小 樽	4	74	77	3	0	83.10	
	小 樽 南	4	86	84	-2	0	83.98	
	小 樽 銭 函	4	23	25	2	3	88.00	
	蘭 越	4	14	14	0	0	71.80	
	余 市	3	43	43	0	4	96.10	
		小 計		327	330	3	10	81.54

クラブ数 72クラブ  
 期首会員数 3,136人  
 当月末会員数(女性) 3,188(97)人  
 増加会員数 52人  
 当月平均出席率 83.10%

グループ	クラブ名	例 会 数	会 員 数				出席率
			04.7.1	04.11.30	増減	内女性	
7	千 歳	4	65	66	1	2	78.20
	千歳セントラル	3	30	31	1	0	84.70
	恵 庭	3	51	51	0	0	82.63
	北 広 島	3	19	19	0	2	83.34
	長 沼	5	18	18	0	3	82.30
	由 仁	4	15	15	0	0	85.00
		小 計		198	200	2	7
8	え り も	4	24	23	-1	0	78.26
	三 石	5	17	17	0	1	83.50
	様 似	4	19	19	0	2	64.49
	静 内	3	67	69	2	0	85.07
	浦 河	4	40	40	0	1	91.88
		小 計		167	168	1	4
9	伊 達	4	56	58	2	0	77.12
	室 蘭	4	51	53	2	0	83.66
	室 蘭 東	4	43	43	0	0	90.00
	室 蘭 北	4	37	37	0	2	100.00
	登 別	4	39	40	1	2	82.50
	洞 爺 湖	4	10	10	0	0	82.50
		小 計		236	241	5	4
10	函 館	4	101	100	-1	0	82.10
	函 館 亀 田	4	42	43	1	1	78.49
	森	4	43	43	0	0	80.00
	七 飯	4	24	24	0	0	78.10
	長 万 部	4	13	13	0	0	59.57
	小 計		223	223	0	1	75.65
11	江 差	4	16	15	-1	0	77.80
	函 館 五 稜 郭	4	68	64	-4	0	90.18
	函 館 東	4	50	58	8	7	82.14
	函 館 北	3	37	38	1	0	84.26
	上 磯	4	29	29	0	3	50.90
	松 前	4	9	8	-1	1	62.50
	小 計		209	212	3	11	74.63
12	白 老	4	29	28	-1	1	72.70
	苫 小 牧	4	56	59	3	0	78.81
	苫 小 牧 東	4	32	32	0	3	81.87
	苫 小 牧 北	4	41	40	-1	2	81.09
		小 計		158	159	1	6
	合 計		3,136	3,188	52	97	83.10

## 新入会員のご紹介



下沢 英二  
栗山RC  
平成16年7月20日入会



北村 利雄  
栗山RC  
平成16年9月7日入会

## 訃報

慎んでお悔やみ申し上げますとともに、  
心からご冥福をお祈りいたします。

浅利 作造 会員(千歳RC)  
2004年10月2日ご逝去(享年78歳)

### 【ロータリー歴】

1968年入会(チャーターメンバー)  
1969~1970年度 幹事  
1978~1979年度 会長  
1991~1992年度 第7分区代理  
2003~2004年度 第2510地区  
地区大会実行委員会委員長



小西 迪夫 会員(岩見沢RC)  
2004年10月26日ご逝去(享年71歳)

### 【ロータリー歴】

1980年7月入会  
1985~1986年度 幹事  
1987~1988年度 親睦委員長  
1988~1989年度 社会奉仕委員長  
1989~1990年度 出席委員長  
1992~1993年度 職業分類委員長

15年間100%出席  
ボール・ハリス・フェロー



五本日出夫 会員(岩見沢RC)  
2004年11月4日ご逝去(享年81歳)

### 【ロータリー歴】

1967年7月入会  
1968~1969年度 プログラム委員長  
1969~1970年度 親睦委員長  
1970~1971年度 幹事  
1971~1972年度 職業奉仕委員長  
1975~1976年度 国際奉仕委員長  
1978~1979年度 会長  
1979~1980年度 情報委員長  
1981~1982年度 会員選考委員長  
1986~1987年度 社会奉仕委員長  
1989~1990年度 会員選考委員長  
1985年 地区大会幹事  
「小さな親切運動」独立結成

12年間100%出席  
マルチプル・ボール・ハリス・フェロー(1)  
米山功労者(2)



中本 陽三 会員(千歳RC)  
2004年11月16日ご逝去(享年74歳)

### 【ロータリー歴】

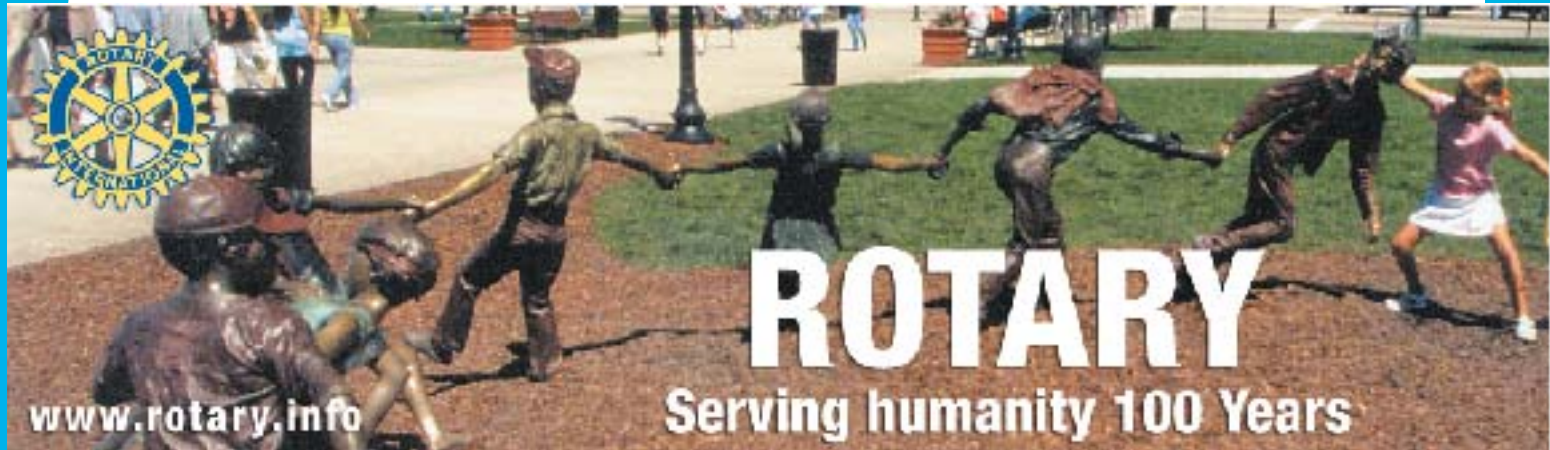
1985年入会  
1989~1990年度 雑誌委員会委員長  
1999~2000年度 環境保全委員会委員長  
2000~2001年度 //  
2001~2002年度 //





1月・2月 地区カレンダー

1 月 ロータリー理解推進月間/追悼記念週間(1/27を含む1週間)		2 月 世界理解月間/家族週間(第2週)/ロータリー創立記念日、世界理解と平和の日(2/23) 世界理解と平和週間(2/23~3/1)	
1(土)		1(火)	
2(日)		2(水)	
3(月)		3(木)	
4(火)		4(金)	
5(水)		5(土)	小樽南RC創立45周年記念式典(18:00~,小樽グランドホテル)
6(木)		6(日)	
7(金)		7(月)	
8(土)		8(火)	
9(日)		9(水)	
10(月)	成人の日	10(木)	
11(火)		11(金)	建国記念日
12(水)		12(土)	
13(木)		13(日)	
14(金)		14(月)	
15(土)		15(火)	
16(日)		16(水)	
17(月)		17(木)	
18(火)		18(金)	国際協議会(アナハイム,塚原GE出席)
19(水)		19(土)	
20(木)		20(日)	
21(金)		21(月)	
22(土)	札幌幌南RC創立40周年記念式典 17:00~,サッポロルネッサンスホテル)	22(火)	
23(日)	第2回 ガバナー補佐会議(11:00~,ホテルサンルート室蘭)	23(水)	
24(月)		24(木)	
25(火)		25(金)	▼
26(水)		26(土)	
27(木)		27(日)	
28(金)		28(月)	
29(土)			
30(日)			
31(月)			



[www.rotary.info](http://www.rotary.info)

# ROTARY

Serving humanity 100 Years



DISTRICT 2510 of ROTARY INTERNATIONAL  
2004-2005  
GOVERNOR'S MONTHLY LETTER